

シュノーケリング入門

8月22日（土）～23日（日）に「シュノーケリング入門」を実施しました。

1日目は、はじめに「シーカヤック体験」と「シュノーケリング練習」を行いました。快晴の中シーカヤックから見る海の景色を楽しんだり、翌日の椿島シュノーケリングに向けて、砂浜や艇庫前で練習をしたりしました。活動を通して、交流を深めながらゆったり流れる時間を楽しみました。夜は、南三陸町自然環境活用センターの研究員 阿部拓三氏 を講師に迎え、志津川湾の自然について講話をいただきました。昨年まで南三陸町で多く水揚げされていたイセエビなどの温かい海域の海洋生物について、「黒潮の大蛇行」がえいきょうしていること、実際の観測データや生息している海洋生物の種類の多さなどをわかりやすくお話しいただき、参加者は地球温暖化をはじめとする環境の保全に関して考えをめぐらせていました。

2日目は、フクダ海洋企画の方を講師に招き、青い空と透き通った海の中、天然記念物「椿島」周辺でのシュノーケリングを行いました。前日の講話で学んだ海洋生物を発見しては、みんなで共感し、海中散歩を思う存分楽しみました。活動後、参加した方からは、「夢のような時間だった」等の感想をいただきました。

1日目：シーカヤック・シュノーケリング・志津川湾に関する講話



開講式



シーカヤック



バナナボート



シュノーケリング(1日目：砂浜・艇庫前)



講話「志津川湾の自然」

2日目:椿島シュノーケリング



シュノーケリング(2日目:椿島)



閉講式



【参加者全員での集合写真】

